

港区立麻布子ども中高生プラザ  
指定管理者候補者選考委員会  
報 告 書

令和元年7月2日

港区立麻布子ども中高生プラザ  
指定管理者候補者選考委員会

## 目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	3
II	選考経過について	4
III	選考対象者について	7
IV	選考結果について	7
V	最終選考結果について	10

## はじめに

本報告書は、港区立麻布子ども中高生プラザの指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立麻布子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過並びに結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立麻布子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、麻布子ども中高生プラザの設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立麻布子ども中高生プラザ指定管理者候補者には、3事業者から応募があり、様々な提案を受けることができました。いずれの提案も現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れた提案であったため、選考作業は困難を極めました。指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと大変喜ばしく感じています。

応募いただいた事業者の皆様には深く感謝するとともに、選ばれた事業者には、港区立子ども中高生プラザ条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

令和元年7月2日

港区立麻布子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会  
委員長 阿部 真美子

# I 選考した指定管理者候補者について

## 1 指定管理者候補者

名 称	公益財団法人児童育成協会
代表者	理事長 藤田 興彦
所在地	東京都渋谷区東二丁目22番14号

## 2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立麻布子ども中高生プラザ	東京都港区南麻布4丁目6番7号

## 3 指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年）

## 4 選考の理由

- (1) 港区の状況によく通じており、全体的な運営の内容に安定感があります。また、施設長候補者は管理能力が非常に高い印象を受け、信頼度が高いと評価できます。
- (2) 地域や大学との交流やボランティアの積極的な受入れ、各利用者の各年代に応じたプログラムなど魅力的で工夫が感じられる提案が評価できます。
- (3) 虐待の早期発見について、記録に基づいた早期発見という信頼できる細やかな対応を考えている点が優れています。
- (4) 職員配置について、利用者のさらなる増加を想定して、現状より2名増員し見守りを強化する体制となっており、利用者にとって安全・安心な施設運営が期待できます。
- (5) 麻布地区の地域特性をよく理解し、広い視野で地域や当該施設の現状・役割を捉えている点が評価できます。

## Ⅱ 選考経過について

### 1 選考の方法

#### (1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として2事業者を選考しました。

#### (2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた)総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

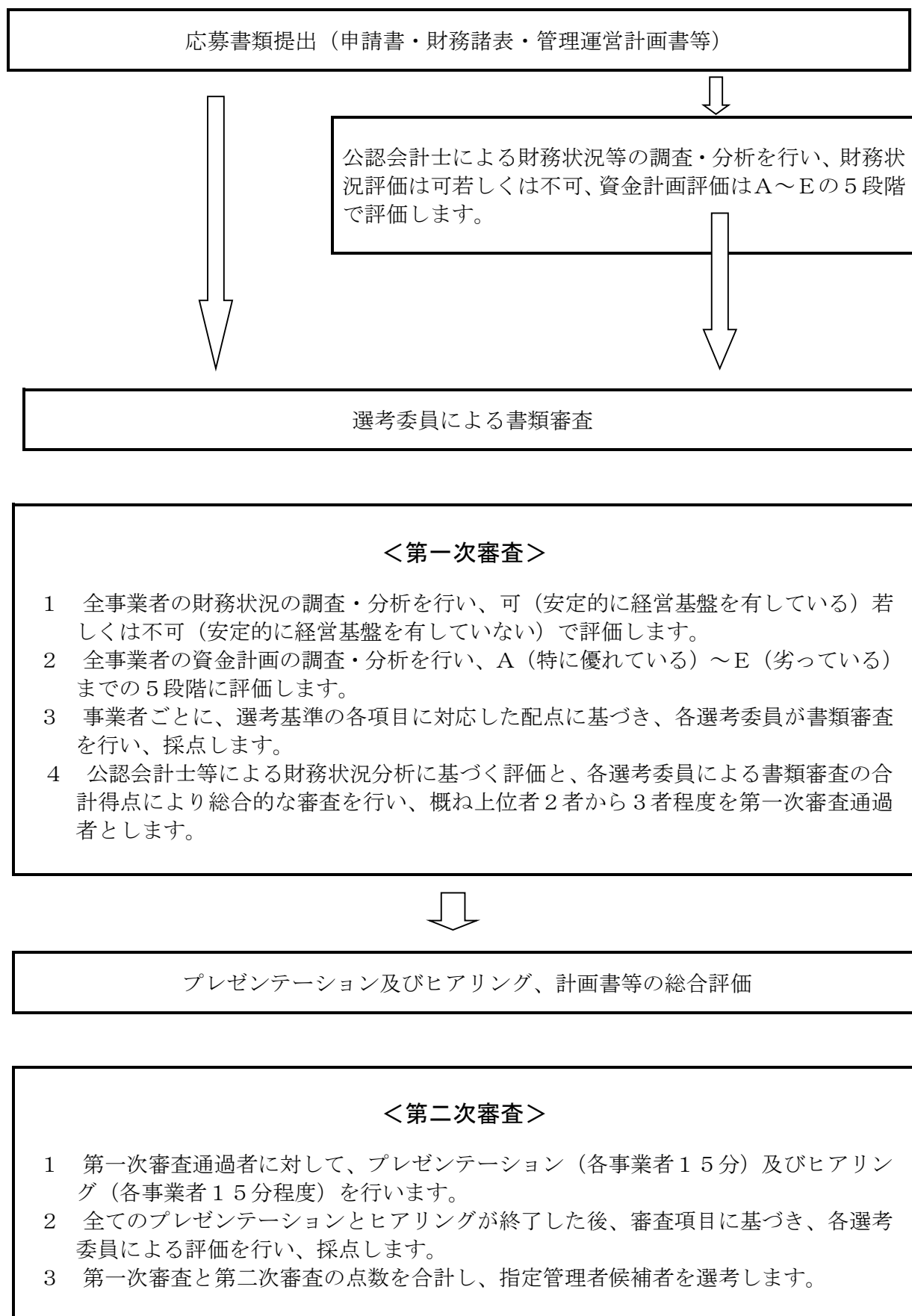
### 2 選考委員会の構成

委員長	阿部 真美子	聖徳大学児童学部教授
副委員長	有賀 謙二	港区麻布地区総合支所長
委員	請川 滋大	日本女子大学家政学部准教授
〃	宮地 孝宜	東京家政大学人文学部講師
〃	野上 宏	港区子ども家庭支援部子ども家庭課長

### 3 公認会計士

坂本 亮	Census Consulting 株式会社
------	------------------------

#### 4 選考の進め方



## 5 選考委員会等の開催状況及び経過

### (1) 第1回選考委員会

日 時 平成31年4月8日(月曜日) 午後2時00分～4時00分  
場 所 麻布区民協働スペース  
議 題 委員の委嘱について  
候補者の選考方法について  
公募要項について  
選考基準について

### (2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 平成31年4月22日(月曜日)  
イ 現地見学会 4月22日(月曜日)  
ウ 質問書受付 4月22日(月曜日)～4月26日(金曜日)  
エ 質問への回答 令和元年5月10日(金曜日)  
オ 書類等受付 5月27日(月曜日)～5月28日(火曜日)

### (3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時 令和元年6月25日(火曜日) 午後6時00分～8時00分  
場 所 港区役所 511会議室  
議 題 応募事業者の財務状況等について  
第一次審査(書類審査)  
第二次審査の方法について

### (4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時 令和元年7月2日(火曜日) 午後5時30分～7時30分  
場 所 麻布区民協働スペース  
議 題 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)  
候補者の決定について

### Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	事業者A	
2	公益財団法人児童育成協会	東京都渋谷区東二丁目22番14号
3	事業者C	

### Ⅳ 選考結果について

#### 1 第一次審査

##### (1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

##### ア 財務状況評価

各法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

##### イ 資金計画評価

各法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積りの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

##### (2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況評価	資金計画評価	合計点数 (1,050点満点)
1	公益財団法人児童育成協会	可	A	858点
2	事業者A	可	A	812点
3	事業者C	可	B	625点



※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

### (3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
事業者A	<ul style="list-style-type: none"><li>・中高生の自主性と協調性を推進する取組として、中高生運営委員会の設置は興味深い提案だと感じる。</li><li>・安全対策について、外国人利用者への配慮等の記載がなく、麻布地区の地域性に特化して考えられたものではない。</li><li>・自主事業としてフリースクールとの提携など、不登校児への対応が非常に良いと感じる。</li><li>・コミュニティ形成手段の豊富さや、子育てひろばでの本部特別支援チームの巡回指導による専門サポートは魅力的だと感じる。</li><li>・虐待やいじめ、児童の家庭での様子の変化を早期に発見するための年2回の保護者面談の実施は、実現可能性を考えると少し不安を感じる。</li><li>・地域性を活かした活動については弱いですが、イベントの内容としては今時の中高生には魅力的だと感じる。</li></ul>
公益財団法人 児童育成協会	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の実情に応じた計画になっており、具体的な活動も示されていて、実現可能性が高いと感じる。</li><li>・地域や大学との交流やボランティアの積極的な受入れ、各利用者の各年代に応じたプログラムなど魅力的で工夫が感じられる。</li><li>・おもちゃの図書館で障害児と健常児で空間を共有する提案が非常に良い。</li><li>・集団降室の提案が具体的で経験を積んでいると感じる。</li><li>・港区の状況によく通じており、全体的な運営の内容に一番安定感があると評価できる。</li><li>・指定管理料が現行事業者の平成 29 年度決算額より高い見積りとなっている件について、第二次審査で確認したい。</li></ul>

事業者C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港区での経験が弱いと感じ、麻布地区について一般的な記述はあるが、具体的にこの地域の特性をどの程度理解しているのか疑問を感じる。</li> <li>・職員の新人配置が多いことに疑問を感じる。</li> <li>・働きやすい職場づくりについての考え方の項目は、趣旨を理解しきれていないと感じた。</li> <li>・トヨタ技術会との連携の提案は興味深い。</li> <li>・年間の活動や行事について、実施時期や実施回数などの規模感が示されていない。</li> <li>・全体的な記述が何々しますと言っているが、具体的な経験を踏まえてこうできるという提案が少ない。</li> </ul>
------	---

以上の点を総合的に勘案して、採点集計表の順位のとおり上位2事業者を第一次審査通過者としました。

## 2 第二次審査

### (1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過2事業者がそれぞれ15分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき15分程度のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

### (2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (1,550点満点)	第一次審査点数 (1,050点満点)	第二次審査点数 (500点満点)
1	公益財団法人児童育成協会	1, 288点	858点	430点
2	事業者A	1, 184点	812点	372点

### (3) 選考経過

各委員が第一次審査通過2事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
事業者 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長候補者が非常に前向きで誠意がある。</li> <li>・虐待の早期発見について、発見しなくてはならない意識はあるものの、具体的な子どもへのアプローチや主張が弱いと感じる。</li> <li>・職員配置について、幅広い年齢の子どもが利用する大型児童センターなので、現状より 1 名減員する提案は少し不安を感じる。</li> <li>・全体としてバランスが取れているが、課題を持つ子どもたちの居場所づくりについて、課題への認識が少し薄い印象を受けた。</li> <li>・地域に関する部分の具体性が少し弱いと感じる。</li> </ul>
公益財団法人児童育成協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻布地区の地域特性をよく理解し、広い視野で地域や当該施設の現状・役割を捉えていると感じる。</li> <li>・指定管理料が現状よりも高く見積りされている件について、適正に見積りをした結果ということで納得できる。</li> <li>・施設長候補者は管理能力が非常に高い印象を受け、信頼度が高いと評価できる。</li> <li>・虐待の早期発見について、記録に基づいた早期発見という信頼できる細やかな対応を考えている。</li> <li>・職員配置について、利用者のさらなる増加を想定して、現状より 2 名増員し見守りを強化するところが評価できる。</li> <li>・1 時間ごとの職員シフト表は合理的なシステムだと感じる。</li> </ul>

## V 最終選考結果について

### 最終選考結果

選考基準に基づき最も高い総合評価を与えられるのは、「公益財団法人児童育成協会」です。選考委員会の総意として、「公益財団法人児童育成協会」を港区立麻布子ども中高生プラザ指定管理者候補者として選考します。